

小学部 第4学年 道德科 学習指導略案

指導者氏名：○○○○、○○○○、○○○、○○○○

授業日時 令和 2年 11月 16日 月曜日 10:40～11:20

場所 小4教室

主題名【内容項目】	おおきくなるってことは【生命の尊重】	第 3 / 4 時	
教材名(出典)	おおきくなるってことは		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・自分(の生命)を、愛情をもって大切に育ててくれた家族の思いに気付くことができる。 ・自分の生命が大切なものであることに気付き、これからの自分に期待感をもつ心情を育てる。 	学習評価	目標設定 支援の手立

本時の授業後「学習評価」、「目標設定」、「手立て」の順にA～Dで記入する。			
学習評価	: A 達成できた	B ほぼ達成できた	C 一部達成できた D 達成できなかった
目標設定	: A 目標は適切だった	B 目標は低すぎた	C 目標が高すぎた D 目標が適切でなかった
支援の手立て	: A 有効であった	B ほぼ有効であった	C 一部有効であった D 適切ではなかった

前時からの改善点	<p>引き続き、「おおきくなる」、「こども」「おとな」をキーワードに、成長について理解を促すようにする。</p> <p>前の時間は「小さいとき」(過去)の自分についてであったが、本時では「大きくなったら」(将来、未来)の自分について考えるきっかけに、児童に分かりやすい食べたいもの、乗りたいもの、行ってみたいところ、着てみたい服など、児童の好みから考えられるようにする。</p>
他の教育活動との関連	特別活動

学習過程

過程	時間配分	学習活動	指導上の留意点・支援
導入		<p>1 あいさつをする。</p> <p>2 本時の学習を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日直に号令をかけてもらう。その際、学習の始まりを意識できるように姿勢がきちんとできていることを確認してから、礼を言うように伝える。 ・「おおきくなるってことは」という言葉をこの学習のキーワードに、自分の成長について考えることを伝える。
展開		<p>3 絵本「おおきくなるってことは」の読み聞かせを聞く。</p> <p>4 「おおきくなる」とはどういうことであるのかを復習する。</p> <p>5 自分たちの小さかった頃(過去)の話を思い出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が視覚的に捉えやすいように、Office Lensを活用して、絵本をスライドにして示す。 ・絵本の中の児童に分かりやすいフレーズをヒントに、「おおきくなる」=1つずつ年をとっていくこと、大人に近づいていくことに気づかせる。 ・誕生日会のスライドを用い、誕生日になると1つずつ歳をとることを伝える。 ・自分年表を見て、自分の成長に気付けるようにする。 ・児童の写真などを使った、前時に話をした自分

	<p>す。</p> <p>6 大きくなったらしたいことを考える。 (例、ディズニーランド、USJ、レゴランド、新幹線、飛行機、ドクターヘリ、ヘリコプター、車、警察官、消防士、ウェディングドレス、デザートビュッフェなど)</p> <p>7 大きくなってしたいことを年表に書き入れる。 (貼る。)</p>	<p>の小さい頃、友達の小さい頃の話でもう一度伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分年表を使って、「小さい頃」は今までのこと、「大きくなったら」は年表にまだ写真のない、これからしたいことを考えるということを説明する。 ・児童がイメージしやすい、食べてみたいもの、着てみたい服、行ってみたいところ、乗ってみたいものなど、児童の好みから、普段経験することのない写真などを使って考えたり、選択したりできるようにする。 ・年表の未来の部分に選んだことを書いたり、貼ったりする。
<p>ま と め</p>	<p>6 それぞれの「大きくなったら」を発表する。</p> <p>7 次時の学習を知る。</p> <p>8 あいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年表に貼ったこと、書いたことを、年表を使って、それぞれのかたちで発表できるようにする。 ・自分たちを大きくなるように育ててくれている家の人に感謝の手紙を書くことを伝える。 ・手紙を書くことへの意欲がもてるように、地域学習で買ってきたハガキを見せる。 ・日直に号令をかけてもらう。その際、学習の終わりを意識できるように姿勢がきちんとできていることを確認してから、礼を言うように伝える。